



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ゲオホールディングス

コード番号 2681 URL <http://www.geonet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠藤 結蔵

問合せ先責任者 (役職名) 情報管理部 ゼネラルマネージャー

(氏名) 三谷 康生

TEL 052-350-5711

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	59,639	0.8	3,830	—	4,082	—	2,470	50.5
27年3月期第1四半期	59,190	2.2	147	△95.0	360	△88.3	1,641	7.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,501百万円 (55.8%) 27年3月期第1四半期 1,604百万円 (△0.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	47.19	46.93
27年3月期第1四半期	30.40	30.36

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	121,153	65,010	53.6
27年3月期	127,612	63,214	49.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 64,882百万円 27年3月期 63,007百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	127,000	1.7	5,000	96.7	5,200	87.7	2,700	△6.4	51.59
通期	275,000	1.7	8,500	△11.1	9,000	△10.3	4,500	△38.7	85.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	54,567,200 株	27年3月期	54,401,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	2,106,500 株	27年3月期	2,106,500 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	52,340,645 株	27年3月期1Q	53,996,500 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(単位：百万円)

	前年同期間の実績	当期間の実績	前年同期比	当第2四半期連結累計期間		当期連結累計期間	
				業績予想	進捗率	業績予想	進捗率
売上高	59,190	59,639	100.8%	127,000	47.0%	275,000	21.7%
営業利益	147	3,830	—	2,900	132.1%	8,500	45.1%
経常利益	360	4,082	—	3,100	131.7%	9,000	45.4%
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,641	2,470	150.5%	1,300	190.0%	4,500	54.9%

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、新品部門が低調であったものの、それ以外については概ね好調に推移し、微増ではありますが同期間で過去最高の売上高となりました。また、利益率の高いレンタル部門及びリユース品部門が牽引する一方、タイトル不足に応じたプロモーションの抑制等により人件費や備品消耗品費・広告宣伝費をはじめとする販売管理費が想定を下回ったことにより、各利益において前年同期間を上回る結果となりました。

リユース系では、衣料・服飾特化型の「ジャンブルストア」屋号を総合ショップ「セカンドストリート」に転換しつつ、「セカンドストリート」12店舗を新規に出店することにより、同ブランドの価値向上を図っております。

メディア系では、ゲオショップの統廃合を行いつつ、モバイル関連に注力した新業態「ゲオモバイル」3店舗を出店いたしました。

このような店舗開発戦略を着実に実行した結果、以下のとおりの店舗施設数となりました。

( ) 内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店	代理店	F C店	合計
ゲオグループ店舗施設数	1,382 (+12)	93 (+1)	128 (0)	1,603 (+13)
メディア系	983 (0)	93 (+1)	86 (△2)	1,162 (△1)
ゲオモバイル	6 (+3)			6 (+3)
融合系	96 (△2)			96 (△2)
リユース系	293 (+14)		42 (+2)	335 (+16)
ウェアハウス	10 (0)			10 (0)

- (注) 1. メディア系ではDVDレンタルや家庭用ゲームの販売買取を行う店舗をカウントしています。  
 2. リユース系では衣料品や家電製品等の販売買取を取扱う店舗をカウントしています。  
 3. 同一施設内において複数の屋号で営業している場合は併せて1店舗とし、融合系としてカウントしています。  
 4. ゲオモバイルはゲオショップに併設されていないモバイルショップをさします。スマートコレクション等別ブランドを含みます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は63,191百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,468百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,224百万円、売掛金が838百万円、商品が1,555百万円、その他が1,861百万円減少したことによるものであります。固定資産は57,961百万円となり、前連結会計年度末に比べ991百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が950百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、121,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,459百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は29,326百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,741百万円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が883百万円増加した一方、買掛金が3,325百万円、その他が3,299百万円減少したことによるものであります。固定負債は26,815百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,514百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が2,767百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、56,142百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,255百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は65,010百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,796百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2,470百万円及び剰余金の配当836百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は53.6%（前連結会計年度末は49.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきまして、利益率の高いレンタル部門及びリユース品部門が牽引する一方、タイトル不足に応じたプロモーションの抑制等により人件費や備品消耗品費・広告宣伝費をはじめとする販売管理費が想定を下回ったことにより、当第2四半期連結累計期間において、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益が前回業績予想を上回る見込みであります。よって、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成28年3月期第2四半期連結業績予想を売上高127,000百万円、営業利益5,000百万円、経常利益5,200百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益2,700百万円に修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では不確定であると判断し、変更はいたしておりません。修正が必要と判断された場合には速やかにお知らせいたします。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,052	30,827
売掛金	4,077	3,239
商品	23,834	22,279
その他	8,987	7,125
貸倒引当金	△292	△280
流動資産合計	68,659	63,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,622	13,480
その他(純額)	20,420	19,611
有形固定資産合計	34,043	33,092
無形固定資産	1,277	1,301
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,735	14,621
その他	12,648	12,697
貸倒引当金	△3,751	△3,751
投資その他の資産合計	23,632	23,568
固定資産合計	58,952	57,961
資産合計	127,612	121,153
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,540	10,215
1年内返済予定の長期借入金	7,097	7,981
その他	14,430	11,130
流動負債合計	35,068	29,326
固定負債		
長期借入金	21,843	19,076
資産除去債務	3,994	4,044
その他	3,491	3,695
固定負債合計	29,329	26,815
負債合計	64,398	56,142
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,615	8,720
資本剰余金	6,090	6,196
利益剰余金	49,998	51,632
自己株式	△1,979	△1,979
株主資本合計	62,724	64,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	313
その他の包括利益累計額合計	282	313
新株予約権	206	127
純資産合計	63,214	65,010
負債純資産合計	127,612	121,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	59,190	59,639
売上原価	33,265	31,917
売上総利益	25,925	27,721
販売費及び一般管理費	25,777	23,891
営業利益	147	3,830
営業外収益		
不動産賃貸料	292	323
その他	196	204
営業外収益合計	488	527
営業外費用		
支払利息	58	59
不動産賃貸費用	145	192
その他	70	23
営業外費用合計	275	275
経常利益	360	4,082
特別損失		
減損損失	341	121
特別損失合計	341	121
税金等調整前四半期純利益	18	3,960
法人税、住民税及び事業税	221	1,406
法人税等調整額	△1,844	83
法人税等合計	△1,622	1,490
四半期純利益	1,641	2,470
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,641	2,470

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	1,641	2,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	30
その他の包括利益合計	△37	30
四半期包括利益	1,604	2,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,604	2,501

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間

(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。